

みえ福祉第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社三十三総研

②施設・事業所情報

名称：船江保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 雛倉 宇一	定員（利用人数）：90名
所在地：三重県伊勢市船江三丁目11番43号	
TEL：0596-28-1532	
ホームページ： http://masaichi.net/funae/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和43年7月6日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人瑞穂福祉会	
職員数	常勤職員：23名 非常勤職員：0名
専門職員	保育士：18名、調理師：3名
施設・設備の概要	保育室6室、調理室、保健室、事務室

③理念・基本方針

<基本理念>

- ・感性を豊かに育む保育
- ・共に暮らし共に育つ保育
- ・一人ひとりにやさしい保育

<目指す子どもの姿>

- ・しなやかでたくましい子ども
- ・おもいやりとやさしさの子ども
- ・すこやかで夢をひろげ輝く子ども

<保育目標>

- ・自分で考え、自分から行動する
- ・自分の気持ちを大事に思い、他人を思いやる
- ・協力し合って、共に生きる

④施設・事業所の特徴的な取組

◇異年齢児保育

- ・なかよし保育（0～2歳児、3～5歳児）やランチルームなど、他人への思いやりの心を育むため、異なる年齢での合同保育を定期的に行っています。

◇感性を豊かに育む保育（英語教室、体操教室、坐禅教室、リトミック）

- ・歌や絵本・ゲームを通して楽しく英語を学ぶ英語教室や、健康・基礎体力向上を目指す体操教室、体を整え心を落ち着かせる坐禅教室、長い歴史のある鼓隊を核とするリトミックなど、子どもの感性を豊かにする様々な取組を行っています。

◇食育

- ・「食育の日」を設け、子どもが調理や食べ物にふれるなど食に関わる体験をすることで、食への関心を高める取組を行っています。給食では、七分づきにした米や体に優しい調味料を使用しているほか、アレルギー疾患を有する子どもに対しては、職員が3人体制でチェックし、色の異なる器で提供しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成31年4月23日（契約日） ～ 令和元年10月23日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0回

⑥総評

船江保育園は、昭和43年に地元の住職が寺の隣地に開設した歴史のある園で、平成27年7月に園舎を新設し、平成30年に創立50周年を迎えました。伊勢市中心部につながり、人口を多く抱える住宅地かつ商業地の伊勢市船江地区に立地し、園舎は、子どもたちが空に向かって元気にたく育つことを願い「そらまめ」をイメージした外観デザインとなっています。

◇特に評価の高い点

- ・利用者家族へのアンケート結果では、子どもたちが喜んで登園している様子や、表現活動を豊かにするための配慮など園の取組に対する保護者の満足度が高いことが表れていました。
- ・園独自の組織体制としてリーダー制が導入されており、リーダーとなった職員がクラスの枠を超えて横断的に保育内容の企画や課題解決に取り組むことで、保育の質の向上につながっています。
- ・職員に対しては、処遇改善やキャリアパスの導入、定期的な面談の機会を設けるなど、働きやすい職場づくりに取り組んでいるほか、研修の機会も十分に確保され、職員の働く意欲と保育の質の向上につながっています。

◇改善を求められる点

- ・経営層では中・長期ビジョン、事業計画が大局的に語られ、共有されていますが、計画の策定には至っておらず、園の方向性を示した中・長期的な計画策定が望まれます。
- ・利用者家族へのアンケート結果から、保護者の意見や要望に対するフィードバックが少ないことが示唆されました。日頃からの保護者との直接対話によるコミュニケーションに加えて、今後は、書面なども用いることで保護者と相互にコミュニケーションが取れる環境を整備することが望まれます。
- ・保育士については、園独自の人数配置を取り入れ、必要な人材が確保できています。一方、調理師は基準を満たす人員が配置されていますが、休暇をとりづらい状況にあるため、緊急時に備えた人員確保などの体制づくりや業務の見直しが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園の目指している方向、目指すべき方向が、評価委員の議論でより明確になり、それは職員、保護者のアンケートで裏付けられている。この評価結果によって、さらに充実した保育園に成長すると確信しています。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。